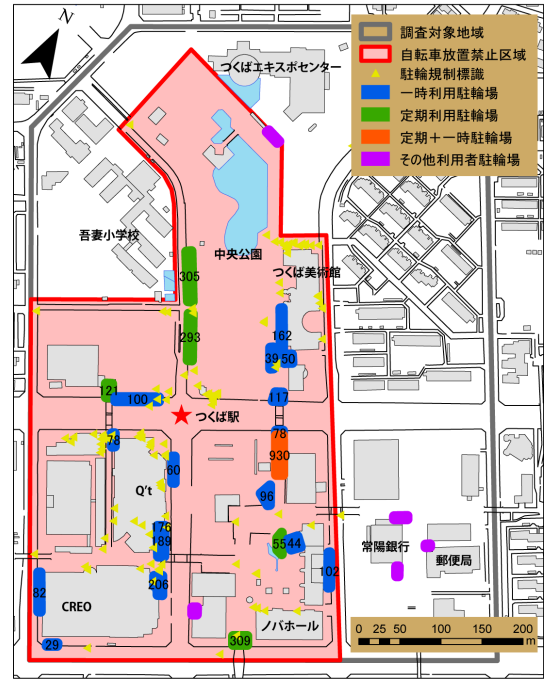


つくば駅周辺における駐輪環境に関する分析

村上翔太（地球科学専攻）

- 1. 目的:** 駐輪場の整備や放置自転車（違法駐輪）の規制強化が進むつくば駅周辺において、現在の駐輪環境を分析することを目的とする。
- 2. 対象地域:** 対象地域は図 1 に示した範囲である。特につくば駅周辺の中心エリアであり、一般利用者向けの駐輪場が多く整備されている自転車等放置禁止区域を中心に調査を行った。
- 3. 研究手法:** 初めに GPS を用い、自転車放置を規制する看板の分布を記録した。同時に駐輪場の位置、収容可能台数、利用料金などをノートに記録した。続いて 8 時～10 時、11 時～13 時、14 時～16 時の 3 つの時間帯に分け、各時間帯における駐輪場の利用台数をノートに、放置自転車のあった位置を GPS で記録した。駐輪場は一時利用や定期利用等、合わせて 27 か所を対象とした。その後、ArcGIS を用いて地図化を行った。
- 4. 結果・考察:** 放置自転車を規制する標識は自転車放置禁止区域内に集中して設置されており、放置自転車への抑止力となっている。一方で駅付近では放置自転車が見られ、規制標識だけでは抑止力が足りないようであった。利用率を見てみると、駅付近の駐輪場は駅への通路に近く利便性が高いことから、1 日を通して利用率が高い。そのため駐輪場に空きがないことが違法駐輪の一番の原因であると考えられる。クレオスクエアの周りの駐輪場は 3 時間まで無料で駐輪でき、買い物客

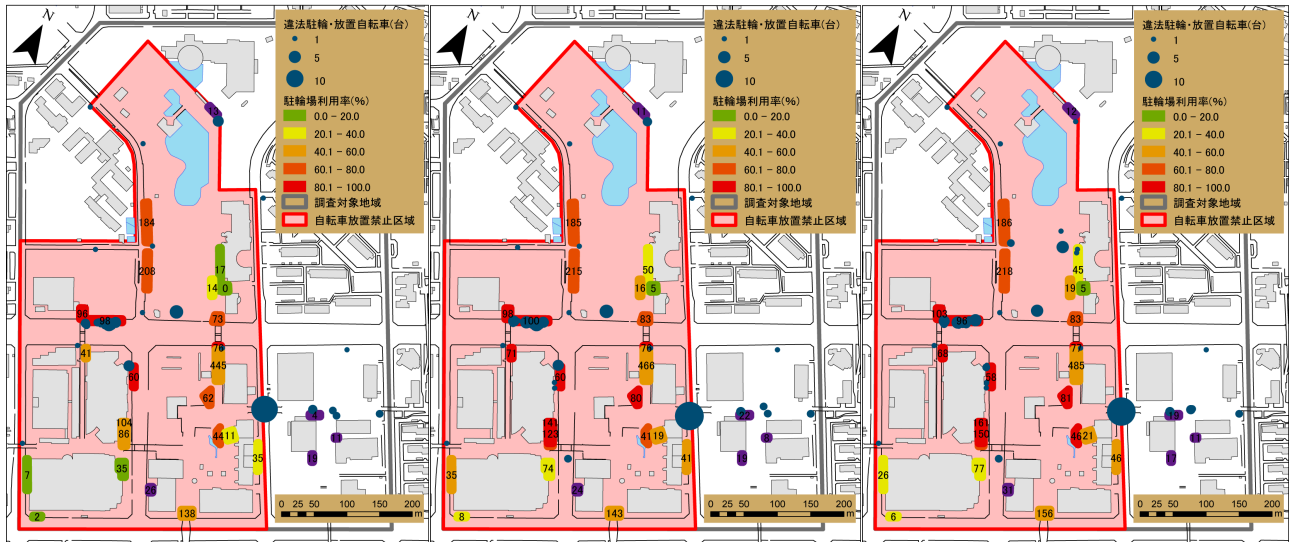
の増加に合わせて利用者が増加する。利用率は駅から離れるほど低くなる傾向がみられた。主に問題となっているのは駅付近であり、TX 利用者の駐輪需要を満たすことが重要である。そのためにも駅から近い距離で駐輪場が増設されることが求められる。



第 1 図 駐輪場及び規制看板の分布

注 1) 各駐輪場の数字は駐輪可能台数を示す。

(現地調査, Zmap により作成)



第 2～4 図 駐輪場の利用状況と違法駐輪の分布 (左から 8 時～10 時, 11 時～13 時, 14 時～16 時)

注 1) 各駐輪場の数字は駐輪台数を示す。注 2) 紫色の駐輪場はその他利用者駐輪場を示す。(現地調査より作成)